



クローズアップ
CLOSE UP

世界各国の秋バラ開花

10月26日から11月10日まで敷島公園門倉テクノばら園で、秋のバラフェスタを開催。市のオリジナル品種あかぎの輝きをはじめ、世界各国のバラ460種が咲き誇りました。また、夜間にはバラ花壇のライトアップを実施。秋のバラと光が園内を彩りました。



朔太郎賞は『QQQ』に

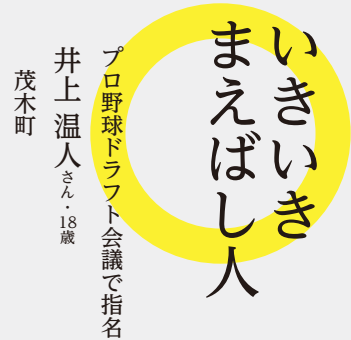
10月27日、前橋文学館で萩原朔太郎賞贈呈式を開催。受賞者の和合亮一さんは「朔太郎さんや詩の世界、第二の故郷になる前橋に恩返しがしたいです」とあいさつ。「我がアイドル、萩原朔太郎」と題した講演では、和合さんが詩を書き始めるようになった経緯などを語りました。



ずっと愛される場所に

児童文化センター50周年記念式典を、11月3日に開催しました。前橋東ロータリークラブから贈られた日時計の除幕式、ジュニアオーケストラや合唱団の合奏と演奏など、50周年をみんなで祝福。これからも笑顔あふれる場所であり続けようと、決意を新たにしました。

前橋からプロの世界へ



10月に都内で行われたプロ野球ドラフト会議で、巨人から4位指名を受けた前橋商業高野球部投手の井上さん。会議の様子は仲間たちと見守った。「名前が呼ばれた時はほっとしました。周りが盛り上がりすぎて、うれしかったです」

野球は小1から始めた。「始めた頃からもちろんプロを目指してやってきました。だけど、本当になれるとはとていう思いもあります」

プロ入りの実感はまだないと言いつつも、目標とする選手像は明確だ。「巨人で目標とするのは菅野選手。ピッチャーは調子の波があるものですが、菅野選

手のような波に動じずチームを勝利に導くピッチングができる選手になりたいです」

「最初は他の選手のいいところを吸収し、数年後はチームの核となる選手になりたい」

プロでの活躍を目指し、現在は体重の増量を目指してトレーニングを続けている井上さん。プロを目指す野球少年たちへメッセージを求めると

「誰でもプロになれる可能性があります。夢を追い続けていけばなれる。夢を大切にしたいです」と力強く答える。前橋から誕生したプロ野球選手として、夢を追い続ける井上さんの姿は、多くの野球少年の夢となるだろう。



10月6日に東京都目黒区で開催されたこまばのまつり。多くの皆さんに前橋の食材を使ったすいとん汁を食べてもらい、大好評でした。右の写真の左から3番目が私です。



都市部から前橋へ生活拠点を移し、赤城南麓を中心とした市内のさまざまな場所で活動する地域おこし協力隊。このコーナーでは、5人の協力隊が交代で日ごろの活動を紹介します。今回は伊藤武隊員です。

暮らし課
027・898・6510



前橋の食材をたっぷり味わえるすいとん汁は、前橋市公式クックパッドにレシピを掲載しています。ぜひお試しください。

「赤城南麓を食で元気に」をテーマに、前橋の食材を使った新たな料理開発や赤城の特産物の普及など、フードコーディネーターの経験を生かし活動しています。

今年は富士見町の畑で小麦を栽培し、地域の皆さんのおかげで予想を上回る小麦を収穫できました。富士見産の小麦を味わってもらうため、伝次平倶楽部の都市交流事業に参加し、東京都目黒区の皆さんに小麦粉と赤城の鳥居みそを使った、すいとん汁を振る舞いました。

今後も地元の農家さんと連携して生産や加工、流通などさまざまな場面で、おいしい前橋の食材をPRしていきます。